

園兒募集

一、定員 六十名
 一、資格 五歳より學齡まで
 一、新學期開始 四月五日午前十時
 『規則書希望ノオ方ハイツ
 デモ幼稚園ニオ出下サイ』
平信榮幼稚園
 平町材木町

體露 關内藥局

裁縫 生徒募集
 ◇小供服ミシン刺繍
 希望者入學隨意無試験
 採用、ミシン貸與
 ◇速成科二ヶ月修業
 詳細規則書送呈ス
 ◇無料出張教授
 ◇家庭職業用ミシン月賦販賣
シンガー裁縫女學院
 シンガーミシン會社
 平町一丁目

小商店員入用

◇小商店員數名至急入用
 用家族的優遇ス詳細面談
 平町一丁目
和久井屋
 電話四〇六番

便利と經濟の親玉

瓦斯で火をおこすには電氣ト金物特賣の「瓦斯火おこし」に限りませう。炭がくすれず取扱に便利でございませう。特價たつた金式拾錢です。御家庭用の釘抜キ又は金錠には「小松式四德金錠」をおすゝめ致します。特價僅か廿貳錢で其の便利に事實に驚きます。特製打及物はすべて請合ひます。經濟の親玉文化電、東洋電、大正電の御試用をも願ひます。
 どうぞ見るだけでも来て見て下さい
 平停車場前 平電氣株式會社
電機ト金物販賣部
 平町電四二八番

公債 債券 賣買

大正生命保險株式會社
 平代理店

多田井質店

平町大工町

遠藤パン

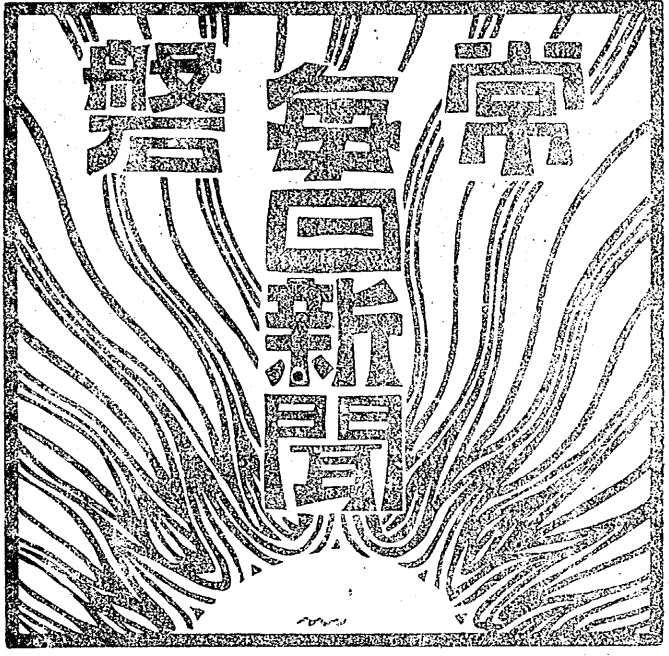
筆記帳大賣出し
 ◇来る三月二十二日より
 四月十五日まで◇
 景品進呈

家賃 保險

仲間町商店向 十圓
 櫻町勤人向 七圓十圓
 柳町勤人向 八圓五錢
 神戶火災 平代理店
 東洋火災 平代理店
 共保生命警東代理店
 御用は電話三三番へ
加藤營業所
 平白銀町十五番地
 振替口座仙臺六二四三番
 電話三三番二五五番

清光堂分店

代價拾錢 藤田家傳
 藤田榮助
 平町田町電話三三六番



刊夕日六十二月三

發行兼編輯人 川崎文治
 本社下町番地(電話六三〇番)
 印刷所 常盤毎日印刷所

定一部金貳錢 廣告五號十二行 日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五
 價紙稅五厘 料五字詰一行 日祝日ノ至 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

常盤毎日新聞 本小學校學童 貯金に就て

世は擧げて勤儉貯蓄消費節約を絶叫してゐます。然しこの點まで是れが徹底してゐるでせうか昨年八月中華の洋品店の品物賣行き等を新聞紙に發表して世人の猛省を促してゐましたが、誠に寒心に堪えませんが、勤儉の風は何處に吹いてゐるかと思はれる位です兎に角吾人は世の中の事に對して真剣でなければならぬと思

ノート
 カバン
 ソロバン
 運動具
マル柴田書店
 平町四丁目
 電話三三四番

白土 岩石材 販賣
 中山 岩石材 所
 諸花岡石材 所
 御注文次第迅速配達仕候
 平町月見町
喜多林之助

お出の御特參下さい
 平町松雲園池端
特遊券
 ◇有効期間三月三十日迄
 ◇壹枚でお幾人様にも共用できます
 平町長橋町

世の中はたんたんと
 雷氣と機械になりませう
 之れを望まんとする少年は當店で修業なさい
小學校卒業生募集
 (尋常六年又ハ高等二年)
 常盤線平町四丁目十五番地
 電話機ト機械
磐城工業商會
 中村佐治助
 電話一八八番

うごん、そば、うなぎ
 天井、親子丼、五もく
まつや
 平町長橋町

品質優良 長年合衆量豊
関内精米所
 平町橋本
 電話一六〇番
 御試御ハ度ニ非是

看護婦派出
 の求めに應ず
平看護婦會
 平町南町
 電話三〇七番

ひます、お互に感謝感激の念の下に活動せねばならぬと深刻に感ずるものです。私の學校では昨年一月二十日六日攝政宮殿下御成婚記念として學童貯金を始めました是れには植田郵便局長馬上氏の貢獻は偉大なもので、即ち爾來毎月二回五日二十二日の兩日に局員を學校に出張させまして兒童の貯金を扱つて呉れます。金銭上の事ですから吾れは充分の注意を要する點からせう事務繁忙の折柄なかなか容易な事でないと思ひます。本校職員も局長の誠意に對して共鳴してか牛に引かれてか兎に角局と學

校とが所謂感謝感激の生活に入り今日の如き徹底した學童貯金を見るに至つたのもです。父兄も是れに對して一點の非難の聲を立てるものもなく喜んで歡迎してくれます兒童は日曜其他休日等には特に働いて金を得貯金します。又學用品等の費用を節約して貯金します。即ち彼の薄弱な兒童の腦裏には勤儉といふ事は如何なるものか貯金は如何にすべきものかといふ事が印象されました兒童自身が体験してゐます

(つづく)

新入學のつ持をんさ子ね

讀者諸君の御家庭に、この四月から尋常一年へ入學なさる坊ちゃん、嬢ちゃん、かお祝ひの微意を表する爲めに四月分の本紙を無代で進呈致します。故ごうを本月末に配達係が集金に参上致しました際御遠慮なくお知らせを願ひます。

炭價は低下して

影響は案外に少い

優良炭に恵まれたる

常磐地方と鐵道納炭

鐵道省の石炭購入價格は石炭市場の價格を決定するものとして極めて重視する。ばかりか石城地方の如くその價格の如何により直接地方の

年度末賞與

平局管内十三名

百四十四名に

日曜祭日と云はず如何なる日でも終日營業として一般民衆のために通信の勞力に従事し或は貯金保險を奨励して公休一日として休むことなき郵便局員の努力は實に偉大なるものがあるが此れが慰安のため當局では特に年四回の賞與を與へてゐるその配當を受ける人が平局だけで局長を除き百四十四名ほどあつてこの人達は今日月末日までに一人五圓乃至廿五圓位の現金が入るので廿一日の俸給に引續いての賞與なので局長は何れもはくくものである

景氣を

支配さるゝ炭鑛地に在つては之が決定を見るまでには各方面から少からずその成りゆきを懸念さるゝが例であるが去る廿日の契約を最後とし廿四日愈々買炭總量三百卅萬噸價格三千五百萬圓中常磐炭割當

十萬噸

は鑛城卅五萬噸入山十五萬噸の割合を以て購入さるゝこととなつた、而して内地貯炭増加と火力發電方面の需要減少により噸當りの價格は昨年度に比し北海道夕張炭が卅錢を九州炭が廿錢を何れも

低下し

たるに拘らず常磐炭は僅に十錢の低下に過ぎず右に依り影響は石城地方が一番少いことになつてゐる

遞信生 合格

平局管内十三名

過般執行した仙臺遞信局普通科生採用試験合格者は此程發表されたが平局管内七十餘名の受験者中合格者は僅に十三名で其の氏名左の



茶と長命

業務の復舊

至急貯金局に

郵便貯金預け人の貯金局に委託せる各種證券の償還金

保管證券

及證券利子は支拂の都度郵便貯金に組入れられるのであるが大震災當時保管原簿焼失の爲め此事務は暫らく遲滞するの止むを得ざる状態となつたが其後極力右組込事務の整理促進を圖りし結果二月末には大體震災前の状態に復し貯蓄債券の償還金の一部を除いては償還金も利子も最近支拂開始の分迄

少女を弄んで

平町に置き去る

茨城郡結城郡飯沼村林榮太郎長女ユキ(六)假名は昨年

綿引義、草野留佐、佐藤義雄、坂本房芳、柴田友喜、皆川芳男、久保木敬二、草野利通、猪狩ちよ若松隆、大谷鶴治、佐藤清徳、佐藤忠一郎

貯金組入

を了するに至つた故に證券利子に付ては貯金通帳を其の儘原簿所管庫に提出し償還金に付ては貯金局から送られた通知書を添へて貯金通帳と保管通帳を郵便局に

差出せば

何時にても其記入を受くる事が出来る、尤もこれは證券保管通帳の確認が済んだものに対してのみであつて、焼失した百二十七萬の保管原簿の内現在

確認済の

ものは其九割三分であつて残りの七分即ち約八萬二千の焼失原簿は保管通帳の提出がなくして確認未済である爲に償還金も利子も貯金に組入れ

雨傘卅本寄附

石城郡下小川村大字小川字前原

根本吉松氏は同村小學校通學兒童の爲め雨傘卅本を寄附した

林野保護總會

石城郡上小川字横川内倉林野保護

組合にて廿五日午前九時から春季總會を開いた

足指をかまれ

二本共切斷

自轉車に三人乗つて

平町新川町屠肉行商深谷ウメの長男清(七)は自轉車の前と後に一人宛の子供を乗せ街路を疾走中後方の同町篠山一平二男勉(七)は右足をチエンに噛まれ二本の指をもがれた

預け人側

に於て若し通帳を亡失した場合に於て將來保管の事實を證明すること殆ど不可能となるの恐れもあるから確認未済の通帳を所持せる人々は此の際至急貯金局に提出せらるゝ必要がある

今春の地帯

慶長好み

らかみ

この春の帯の新しい好みは昨年あたりと餘程變つてまゐりました、一口に申しますと昨年まで非常に流行してゐたまたた勢力を有してゐた、慶長氣分をやゝはなれて桃山や或は徳川初期の文様

現代化し

決して目に立てないでしかもよく味はへば極めて華やかなものに變つて来たと申されませう、それにこれ迄は新しい帯の好みといへば、只模様

地質迄は

進み入ら

なかつたのでありましたが昨年あたりから一部に見られた地質に變化を求めるといふ氣分は本春になつてすっかり本調子となり、丸帯でも片側帯でも地質の變化を

流行界に

大きな影

を持つものであり従つて機業界にも大なる反響のあると考へられます、何と言つても今日はまだ羽二重が帯地としての主力をしめ、ことに丸帯でなくて片側帯が中心です、

羽二重

いへば従

地色

ては従來の青磁色中心主義が大變廢つて或は古代紫、藤色、ねづみ、それから黄色を巧みに混合した朱系統といった具合です、一体地色は帯に限らず、着物でも近來重んじられて来て帯では地色

それ自体

が一つの大切な色彩で充分にその色を生かすことに努められて

寫生風が

すたつて文様化されたもの、即ちあまりにパツとしないもので、刺しゅうを極めてあつさりとしたもの目につきます、刺しゅうそのそれ自体に精にベツタリとぬいを入れ、たばかりのものでなくて、

太い糸を

使つて肉のあるぬいをしたものです、綿密に言へば近頃頃の結び方も一變して結び目のひき

巧者は帯

をうんと派出にして着物を比較的地味にする風があり、事實それが引立つて見られそれらの結果が帯の巾はだん／＼と狭くなつて行つて今春は普通八寸上りイキの好みといへば七寸五分といふことになつてゐます

平町人事

出生

- △田町四八 鈴木次郎氏三男兼代次
- △白銀町二一 坂部留保氏二女照子
- △南町六四 相澤淺次郎氏次男麗山
- ▲死亡
- △新屋町四六 關内ヤス子(二七)